JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	首都圏２Ａつくも会	(2)記載者氏名:	芦澤敏夫	会員番号:	13176	事務局整理記入欄			
分水嶺区分				(3)山行日:	2004年	5月	1日	(4)天候	快晴

(5) 参加者氏名および会員番号

芦澤敏夫	13176						
		計	1名			計	名

サポート要員氏名および会員番号

(6) 山行記録・位置確認 (出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	野反湖～堂岩山～白砂山～上ノ間山												
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	野反湖まで車使用												
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1地形図名	経度E			緯度N			高度m	到着時刻	出発時刻	道の状況	(8)～(11)の特記事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	野反湖	野反湖	138	38	34.10	36	43	11.20	1,516.0		5:30		
分水嶺到達点	地蔵峠	野反湖	138	38	56.90	36	43	38.40	1,648.0	7:15	7:18	A-1	
1	堂岩山	野反湖	138	40	31.60	36	43	51.90	2,026.0	10:25	10:40	A-1	9
2	白砂山	野反湖	138	41	35.70	36	44	18.00	2,111.0	13:00	13:55	A-1	8，9
3	上ノ間山	野反湖	138	42	46.80	36	44	20.40	2,045.0	16:33		B-3	8，9
分水嶺離別点	上ノ間山	野反湖	138	42	46.80	36	44	20.40	2,045.0	16:33			
歩行終了点													
											総歩行時間 (休憩時間を除く):		9：22

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
2	西川浦	3			残雪のため確認できず
3	川浦	2	南南西	良好	北を0度として、約２０６度の方向が南面

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

2　白砂山の山頂の表示板が不鮮明
3　上ノ間山の山頂は、道標なし

(9) 水および植生に関連した特記事項

日本海側は、稜線沿いに木立が多いが、稜線を境に太平洋側は、背丈の低い笹薮が多い。
分水嶺を境に、日本海側は地形がなだらかであるが、太平洋側は切り立っている。雪庇が出来ているのも、太平洋側である。
稜線沿いは、藪または潅木が茂っている。水場は、野反湖から堂岩山までの間に1ケ所ある。

(10) その他の特記事項

つくも会としては、三国峠から野反峠が分担であるため、3月に三国峠から試登したが、積雪状態が不良のため撤退したので、今回は反対方向から挑戦した。白砂山からは登山道がなく、通常は猛烈な藪こぎのコースであるが、残雪が残るこの時期は、何とか縦走することができた。今後残る三国峠から三坂峠までを、より多くの会員にて実施する予定をしている。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:上ノ間山の三角点の状況